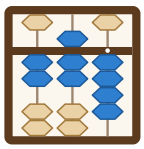
そろばん



わり算の やりかた④（÷2けた）

こたえ

ポイント

2けたで わる ときは、わる数の 十のくらいで 見当を つけて 商を たてます。

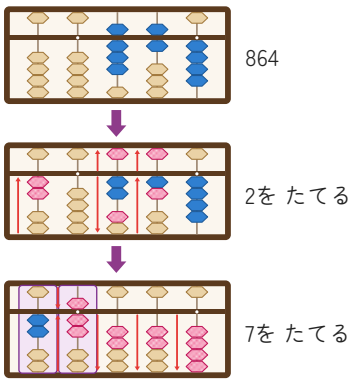
ピンク（しまもよう）は うごかした 珠。さいごの むらさきの わくの 中が 商です。

きまり　あたま2けたが わる数と 同じか 大きい → 2けた 左に 商。小さい → すぐ 左に 商（あたま3けたで わる）。

見当は「あたま ÷ わる数の 十のくらい」。1つの くらいに たてる 商は 9までです。見当が 10 いじょうに なったら、9から ためしましょう。見当の 商と わる数を かけ、ひけなければ 商を 1 へらし、ひけるまで くりかえす。商×十のくらいは 右どなりから、商×一のくらいは その 1けた 右から ひく。わられる数は、一のくらいが 定位点の 3けた 右に くるように おく。

1　864÷32 の やりかたを たしかめよう。

とちゅう 1つ2てん・こたえ 8てん（20てん）　きほん



① 86は 32より 大きい → 2けた 左に。

見当 8÷3 → [2] を たてる。

2×3＝[06]、2×2＝[04] を ひく。

② 22は 32より 小さい → 224で わる。すぐ 左に。

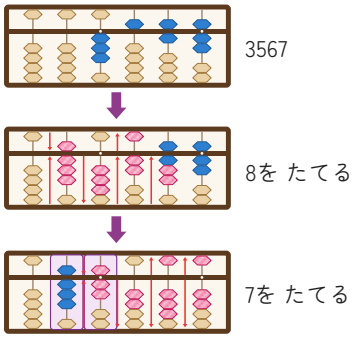
見当 22÷3 → [7] を たてる。

7×3＝[21]、7×2＝[14] を ひく。

こたえ 864÷32＝[27]

2　3567÷41 を やってみよう（すぐ 左から）。

とちゅう 1つ2てん・こたえ 8てん（20てん）　きほん



① 35は 41より 小さい → 356で わる。すぐ 左に。

見当 35÷4 → [8] を たてる。

8×4＝[32]、8×1＝[08] を ひく。

② 28は 41より 小さい → 287で わる。すぐ 左に。

見当 28÷4 → [7] を たてる。

7×4＝[28]、7×1＝[07] を ひく。

こたえ 3567÷41＝[87]

3　わり算を しましょう。

1つ10てん（60てん）　きほん

(1) 984÷41＝[24]　(2) 1887÷51＝[37]　(3) 602÷43＝[14]

(4) 5320÷56＝[95]　(5) 748÷44＝[17]　(6) 1298÷59＝[22]

こたえを みたら、もう いちど やってみよう。　あかい じが こたえ。